

各書店 文芸・エッセイ ご担当様

いつもたいへんお世話になっております。3月23日発売の新刊〈エッセイ集〉のご案内です。

何とぞよろしくご注文くださいますようお願いいたします。＊すべての取次からご注文が可能です（JRC 経由）

発売 港の人 〒248-0014 神奈川県鎌倉市由比が浜 3-11-49 電話 0467-60-1374 FAX0467-60-1375

3月23日発売／宇佐見英治生誕100年記念出版。自筆の辞世の句、初公刊。

こと ば こ かげ し 詩 から、詩 へ

言葉の木蔭

う さ み えい じ ほり え とし ゆき

宇佐見英治著 堀江敏幸編

ISBN978-4-89629-346-3 C0095 ¥3200E 46判上製本／336頁／定価3456円（本体3200円＋税）

◎宇佐見英治生誕100年記念出版。死とすれすれの過酷な軍隊体験を刻んだ戦中短歌、戦後のジャコメッティ、宮沢賢治を語った代表作、最晩年の単行本未収録作品、初公刊する辞世の句（自筆）などをおさめ、生涯の思索の軌跡をまとめる。自筆略年譜、著書一覧付。

◎宇佐見英治は、辻まこと（詩人・画家）、矢内原伊作（哲学者）、ジャコメッティ（彫刻家）、志村ふくみ（染織家・随筆家）らと親交し、その密度の濃い交流を数々の随筆に著した。堀江敏幸のいう「絶対の友情」を表した、「一茎有情」（抄）など珠玉の散文をおさめる。

◎巻末には、宇佐見森吉の、戦後の父の著作活動の根っこを考える「スマトラからスタンパへ」、編者堀江敏幸の、宇佐見英治の魂と思索のあり方を語った「あらぬものへの呼びかけ」の文章をおさめ、いずれも宇佐見英治へのあつい思慕が溢れ、感動的である。

◎カバーの手帖、書斎風景、愛用の天眼鏡などの写真をふんだんにおさめ、故人をしずかに偲ぶ内容を誇っている。



著者紹介 宇佐見英治 うさみ・えいじ

1918-2002。詩人、文筆家。『同時代』同人として活躍、美術評論や翻訳も多数。矢内原伊作、辻まことらと親交。著書に『明るさの神秘』（小平林檎園、1996、宮澤賢治賞）『死人の書』（東京創元社、1998）、編書に『ジャコメッティ』（共編、みすず書房、1996）ほか。

編者紹介 堀江敏幸 ほりえ・としゆき

1964—。作家、仏文学者。早稲田大学教授。著書に『なずな』（集英社、2011、伊藤整文学賞）『振り子で言葉を探るように』（毎日新聞社、2012、毎日書評賞）『その姿の消し方』（新潮社、2016、野間文芸賞）ほか。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	港の人 電話 0467-60-1374 FAX0467-60-1375
		冊	言葉の木蔭 詩から、詩へ 宇佐見英治著 堀江敏幸編 46判上製本／336頁 定価3456円（本体3200円＋税） ISBN978-4-89629-346-3 C0095 ¥3200E

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

*返品条件付き注文扱い